

科目名		
臨床予備実習(口腔保健科)		
英語名		
Preliminary Clinical Practice (Preventive Dentistry)		
授業形態	単位数	開講期
実習	5.5	9期
担当教員		担当教員所属
於保孝彦、山口泰平、佐藤節子、長田恵美、西山毅、五月女さき子		予防歯科学分野
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)
099-275-6182		oho@dent.kagoshima-u.ac.jp
オフィスアワ -		
特に時間は指定せず、6F講座研究室で随時対応する。		
キーワード		
齲蝕活動性試験、口腔清掃指導、食事分析、フッ化物塗布、予防填塞		
学習目標		
<p><一般目標></p> <p>1. 口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断、治療、また特に口腔疾患を予防し、口腔保健を向上させるために必要な基本的知識、技能および態度を身につける。</p> <p><到達目標></p> <p>(1) 歯科保健指導</p> <p>1. 診療室への患者の誘導を適切にできる。</p> <p>2. 患者に挨拶して自己紹介できる。</p> <p>3. 診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p> <p>4. 適切な口腔清掃法を指導できる。</p> <p>5. 適切な食事指導(栄養指導)を実施できる。</p> <p>(2) 予防処置</p> <p>1. フッ化物の歯面塗布を実施できる。</p> <p>2. 予防填塞を実施できる。</p>		
授業概要		
臨床実習に備えて診療の場に慣れ、講義や実習で得た知識を整理するため、学生相互および模型を使用した実習を行う。		
授業計画		
小グループに分かれ、5日間の日程で実習を行う。		
<p>1. 齲蝕活動性試験 齲蝕活動性試験についての説明に続いて検査キットによる学生相互実習を行う。</p> <p>2. ブラッシング指導 ブラッシング法全般についての説明に続いて、学生相互によるブラッシング指導を行う。</p> <p>3. 食事分析 3日間の各自の食事記録を基に分析を行い、指導内容の検討を行う。</p> <p>4. フッ化物塗布 目的、術式、毒性などの説明に続いて、フッ化ナトリウム液を用いた模型実習を行う。</p> <p>5. 予防填塞 目的、術式、効果などの説明に続いて、光重合型レジンシーラントによる模型実習を行う。</p> <p>6. 総合討論ではこれまでの知識の整理と英語文献の輪読を行う。</p>		

月	火	水	木	金
齲蝕活動性試験	ブラッシング指導	総合討論	食事分析	フッ化物塗布/予防填塞
予習・復習へのアドバイス				
<p>毎回の実習にあたっては、そのテーマに該当する内容を教科書にて予習しておくこと。 実習では、適宜その内容をまとめたプリントを配付するので、必要事項をプリントに記入し、実習内容の理解に努めること。このプリントと教科書を活用して、よく復習すること。</p>				
教科書				
特に指定しない。				
参考書				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防歯科臨床教育協議会編、実践予防歯科、医歯薬出版 ・ 予防歯科臨床教育協議会編、予防歯科実践ハンドブック、医歯薬出版 ・ 米満正美ほか編、新予防歯科学、医歯薬出版 ・ 末高武彦ほか編、新口腔保健学、医歯薬出版 				
成績の評価基準				
<p>実習への参加態度、レポートで評価する。 参加態度 50点、レポート 50点の計 100点</p>				
その他				